

## イタリア通信 ~5月~



こちらは5月だというのに冬の寒さが続いていて、まだ暖房が必要です。近頃の山々は雪化粧、まだダウンを着ている人も多いです。

ジェノバの旗は聖ジョージクロス、先日その旗を祝う催しがありました。ところで、この聖ジョージクロス、イングランドの国旗と全く同じですね。元々ジェノバが使用していたものを、イングランドが後から採用したというのはいまだ知られていないのではないのでしょうか。

12世紀から14世紀に掛けて、地中海ではジェノバと言えばヴェネツィアと覇権を争った最強の海洋国家でした。そのため、海賊からの妨害を避けるため、この旗を掲げて地中海を航行することを考えたのがイギリス商人達でした。イングランドは旗の使用料を支払うことで、ジェノバ共和国の承諾を得ることに成功します。

ところが・・・ 昨年その使用料が未払いであるとの問題が浮上しました！  
「女王陛下、遺憾ながらお伝え致します。我々の記録を確認したところ、あなた方はまだ247年分の国旗使用料を支払われていないようです。」

ブッチ市長よりエリザベス女王に宛てた書簡より  
エリザベス女王からは未だに返信がないとのことですが、この使用料、時効は存在するものなのではないのでしょうか・・・



### 伝統的な一皿

リグーリア州に古くからある伝統的な一皿をご紹介します。

結婚式の食事の前の乾杯の際などにも振る舞われたりします。

丸いのが *Frisceu* (フリシュ) で、小麦粉にサルビアやローズマリー等のハーブを混ぜて揚げたもので、ふわっとした食感。

細長いのが *Panissa* (パニッサ)。中はひよこ豆の粉を固めたものでフライドポテトのような食感で、やみつきになります。

季節的に今回はアンティチョークのフライも一緒に盛られています。もう少ししたらズッキーニの花だったり。とても経済的で腹持ちが良いので、昔は港で働く人たちの人気食だったようです。

日本ではあまり知られていない一皿なので、リグーリア州にいらした際はトラットリアで前菜の一品としてお試しください。



### サービスのご案内

#### Genova - Tokyo Reefer混載サービス

ワイン/オリーブオイル/小麦粉/チョコレート等、少ロット貨物をReeferで！ 15℃ / 湿度管理可